

## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場取引所 大

上場会社名 コムテック株式会社

コード番号 9657 URL <http://www.ct-net.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 菅家 博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員

(氏名) 戒能 勢津雄

TEL 03-5419-5551

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	9,363	3.8	394	9.7	380	6.4	171	17.7
24年3月期第3四半期	9,019	2.0	359	△20.7	357	△21.9	145	△24.2

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 194百万円 (71.4%) 24年3月期第3四半期 113百万円 (△34.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	30.59	—
24年3月期第3四半期	25.98	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	6,842	3,008	43.7
24年3月期	7,366	2,937	39.7

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 2,993百万円 24年3月期 2,926百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	8.00	—	14.00	22.00
25年3月期	—	8.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,680	2.1	630	10.1	600	7.1	290	36.6	51.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	6,191,100 株	24年3月期	6,191,100 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	583,198 株	24年3月期	583,080 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	5,607,949 株	24年3月期3Q	5,608,102 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、12月の政権交代による景気対策への期待を見越して円安・株高傾向になるなど変化の兆しが見られるようになりましたが、通期としては、東日本大震災からの復興需要に支えられ緩やかに回復しつつあるものの、長引く円高や、欧州債務危機による海外経済の減速などを背景にして弱い動きで推移しました。

情報サービス産業においては、東日本大震災からの復旧投資やスマートフォンなどを中心にして、情報関連投資は改善の動きが見られるものの、その動きは緩やかでビジネス環境は力強さに欠ける状況にあります。

このような環境のもと、当社グループでは、「新規顧客開拓の切り口となるサービス・パッケージの投入や、将来の大口顧客創出へ向けた顧客との戦略的関係深化といったマーケティング戦略に注力し、売上の拡大に努めてまいりました。

また、各事業ラインを横断的に管理するプロジェクト統括本部を立ち上げ、「見積り精度の向上」「品質管理の徹底」といった経営基盤の改善から利益の確保を図るとともに、パートナーを活用したリソース戦略の展開により機会損失の回避を図ってまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高93億63百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益3億94百万円（同9.7%増）、経常利益3億80百万円（同6.4%増）、四半期純利益は1億71百万円（同17.7%増）となりました。

#### ① ITサービス（IT支援）

当サービスは、システムソリューション会社向けデータセンター運用業務など、前期で終了した大型案件がありましたが、一方でITベンダー向けシステム開発・運用・インフラ構築業務や小売業向けシステム開発業務が堅調に推移した結果、前年同期と比べて微増収となりました。

これらの結果、売上高は44億2百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

#### ② マーケティングサポートサービス（営業支援）

当サービスは、ITベンダー向け業務支援の案件などが縮小しましたが、平成23年10月に株式会社アエルプランニングからの事業譲受により承継したコンピューター関連会社向けの業務支援などの新たな事業が売上拡大に貢献した結果、前年同期と比べて増収となりました。

これらの結果、売上高は26億45百万円（前年同期比10.1%増）となりました。

#### ③ データマネジメントサービス（業務支援）

当サービスは、前期で終了した公益財団法人向け業務代行の大型案件などがありましたが、カード会社向け業務代行サービスの売上が伸張したことや、医療機器製造販売会社向けの業務代行サービスが堅調に推移した結果、前年同期と比べて微増収となりました。

これらの結果、売上高は23億16百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は前連結会計年度末に比べ4億28百万円減少し、43億4百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ93百万円減少し、25億31百万円となりました。これは主にソフトウェア及び建物の償却によるものであります。

これらの結果、総資産は前連結会計年度末に比べ5億24百万円減少し、68億42百万円となりました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末に比べ5億95百万円減少し、38億33百万円となりました。これは主に有利子負債の減少、支払手形及び買掛金の減少、未払法人税等の減少によるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末に比べ70百万円増加し、30億8百万円となりました。これは主に四半期純利益171百万円及び剰余金の配当123百万円によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は43.7%(前連結会計年度末は39.7%)となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月11日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ① 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法は、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ② 特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### （減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,561,974	2,025,864
受取手形及び売掛金	1,836,413	1,830,359
商品及び製品	8,951	6,470
仕掛品	14,993	91,397
原材料及び貯蔵品	4,496	5,121
繰延税金資産	152,720	152,720
その他	158,785	196,883
貸倒引当金	△4,565	△3,965
流動資産合計	4,733,769	4,304,852
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	534,794	512,183
工具、器具及び備品(純額)	197,424	195,987
土地	766,499	766,499
リース資産(純額)	31,406	21,527
その他(純額)	15,909	13,570
有形固定資産合計	1,546,034	1,509,767
無形固定資産		
のれん	110,723	85,822
ソフトウェア	217,123	168,463
リース資産	6,822	4,737
その他	28,824	36,040
無形固定資産合計	363,492	295,063
投資その他の資産		
投資有価証券	253,338	283,641
敷金及び保証金	175,221	168,574
保険積立金	196,485	202,571
繰延税金資産	48,582	36,290
その他	63,047	42,308
貸倒引当金	△21,275	△6,485
投資その他の資産合計	715,400	726,899
固定資産合計	2,624,928	2,531,731
繰延資産	8,002	5,650
資産合計	7,366,700	6,842,233

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	588,987	526,939
短期借入金	476,900	437,500
1年内返済予定の長期借入金	372,670	306,860
1年内償還予定の社債	190,000	190,000
リース債務	17,433	15,570
未払金	713,799	764,509
未払法人税等	163,465	83,728
未払消費税等	129,087	104,479
賞与引当金	215,025	139,006
その他	163,712	210,114
流動負債合計	3,031,082	2,778,708
固定負債		
社債	320,000	210,000
長期借入金	853,730	643,350
リース債務	24,748	13,779
長期未払金	39,550	18,801
退職給付引当金	37,630	40,006
役員退職慰労引当金	122,028	127,904
繰延税金負債	—	880
固定負債合計	1,397,688	1,054,721
負債合計	4,428,771	3,833,430
純資産の部		
株主資本		
資本金	762,725	762,725
資本剰余金	985,635	985,635
利益剰余金	1,780,940	1,829,094
自己株式	△600,478	△600,552
株主資本合計	2,928,822	2,976,902
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,634	16,457
その他の包括利益累計額合計	△2,634	16,457
少数株主持分	11,741	15,443
純資産合計	2,937,929	3,008,803
負債純資産合計	7,366,700	6,842,233

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	9,019,365	9,363,591
売上原価	7,040,192	7,341,513
売上総利益	1,979,172	2,022,078
販売費及び一般管理費	1,619,261	1,627,429
営業利益	359,910	394,649
営業外収益		
受取利息	319	288
受取配当金	4,496	1,636
貸倒引当金戻入額	109	1,045
事業再編損引当金戻入額	157	—
助成金収入	30,304	16,107
雑収入	4,321	5,383
営業外収益合計	39,709	24,461
営業外費用		
支払利息	20,137	19,166
支払手数料	12,750	12,420
貸倒引当金繰入額	342	607
雑損失	8,651	6,389
営業外費用合計	41,881	38,583
経常利益	357,738	380,527
特別利益		
投資有価証券売却益	124	—
特別利益合計	124	—
特別損失		
固定資産除却損	1,431	15
投資有価証券評価損	5,015	—
会員権評価損	2,704	1,350
減損損失	—	5,845
特別損失合計	9,151	7,210
税金等調整前四半期純利益	348,711	373,316
法人税等	209,412	198,161
少数株主損益調整前四半期純利益	139,298	175,155
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△6,385	3,625
四半期純利益	145,684	171,529



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	139,298	175,155
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,912	19,167
その他の包括利益合計	△25,912	19,167
四半期包括利益	113,386	194,322
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	119,772	190,620
少数株主に係る四半期包括利益	△6,385	3,701

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社グループは、コンピュータに付帯する情報関連サービスを主たる事業とする単一のセグメントであるため、記載を省略しております。